復活第７５回（通算９５回）

ＨＩ盃選手権試合

全三菱庭球大会

２０２６年１０月２３日（金）・２４日（土）・２５日（日）

ＭＵＦＧパーク

明治安田　グリーンランドコート

東京海上日動　多摩コート

三菱庭球同好会

目　　次

ご挨拶 1

HI盃選手権試合と全三菱庭球大会について 2

HI盃NAVI　2026（第11回） 3

HI盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項 4

諸注意事項 8

大会次第 9

HI盃選手権試合、女子シングルストーナメント組合せ 10

男子ダブルス、女子ダブルストーナメント組合せ 11

140才トーナメント組合せ 12

120才トーナメント組合せ 13

東西対抗試合組合せ 14

コート時間割 16

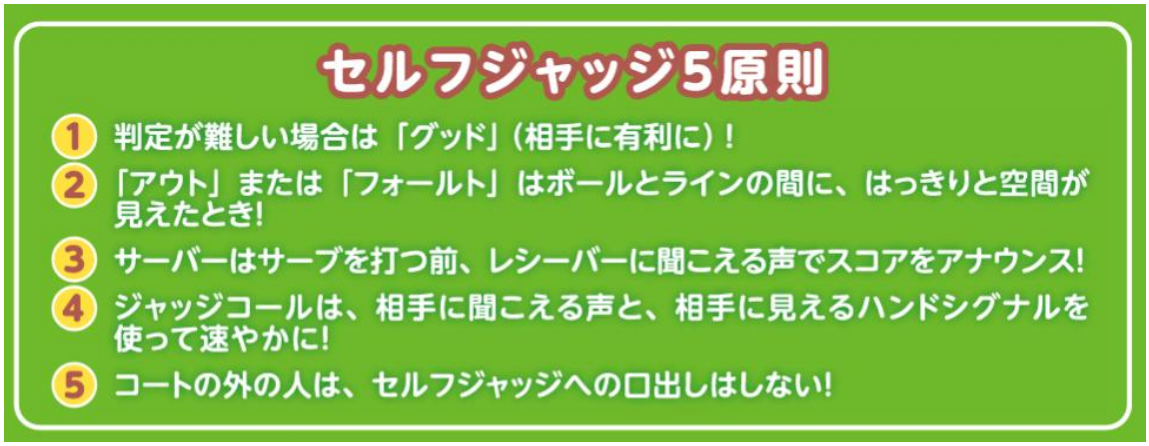
大会会場・懇親会会場案内図 19

2025年度　第74回　優勝者 23

HI盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表 24

開会式への参加のお願い

第3日（10/25）出場予定の選手は、8:30からMUFGパークにて開会式を行いますので、必ずご参集ください。



出典：日本テニス協会HP

ご挨拶

三菱庭球同好会
会長 隅修三

三菱庭球同好会 会長の隅でございます。
本年度も本大会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。
昨年度は、あいにくの悪天候に見舞われましたが、幹事会社・世話人・事務局が刻々と変化する状況に対して迅速かつ適切な判断を下し、結果として東西対抗を除いた全ての種目を完了させることができました。三菱グループ社員の高い対応力と結束力を改めて実感し、大変誇らしく思ったことが今でも強く印象に残っております。大会運営に携わられた全ての関係各位に改めて深く感謝申し上げます。
今年の日本テニス界最大のニュースといえばやはり錦織圭選手の引退ではないでしょうか。長年にわたって世界の頂点を争い、世界中に大きな感動を与えてくれた錦織選手の偉大な功績に心より敬意を表します。三菱グループに所属する松岡隼選手（三菱電機エンジニアリング）や磯村志選手（三菱電機）などが、錦織選手に続く日本テニス界の新たな担い手として世界の舞台でさらなる活躍を遂げ、日本のテニス界を盛り上げてくれることを期待するとともに、引き続き温かいご声援をお願いいたします。
また、前述の松岡選手・磯村選手が出場したアジア大会には、一般企業に勤務する社会人選手が男子ダブルス日本代表として出場されておりました。社会人として働きながらも、努力を積み重ねることで大きな目標を実現できることを示してくれました。三菱グループからも将来このような舞台で活躍する選手が生まれる可能性は十分にありますので、選手の皆様は高い志をもって引き続き鍛錬を重ねていただければと思います。そしていつの日か、HI盃に出場された選手が、将来アジア大会をはじめとする国際舞台で活躍される日が来ることを夢見ております。
最後に、今年も皆様の熱戦により素晴らしい大会となりますことを祈念するとともに、大会関係の皆様と幹事会社のケミカルグループ、ガス化学及び会場を提供いただいた銀行、生命、海上各社に感謝申し上げ、大会挨拶といたします。

HI盃選手権試合と全三菱庭球大会について

HI盃選手権試合の歴史は、1922年（大正11年）にまで遡ります。

この年の10月、ロンドンにご外遊中の岩崎彦彌太様から三菱倶楽部庭球部に銀製カップが寄贈され、そのイニシャルをいただき、「H.I.ロンドンカップ」と名付けられました。翌1923年（大正12年）、このHI盃を争って第1回全三菱男子シングルス試合（HI盃選手権試合）が開催されました。その後、毎年定例の行事として挙行され、今年で102回を迎えます。

これに先立ち、関東関西戦が1916年（大正5年）から開催されており、本大会は今年で108年目を迎えます。1952年（昭和27年）の復活第1回HI盃選手権試合／東西対抗戦（戦争の為1943年（昭和18年）から中断）に際しては、新たに「100才トーナメント（45才以上ダブルス）」（以降105才、110才及び115才を経て現在では「120才トーナメント」）が加えられました。1972年（昭和47年）には、岩崎操子様よりカップが寄贈され、「女子ダブルス選手権試合」が設けられました。1983年（昭和58年）には、岩崎寛彌様よりカップが寄贈され、65才以上のペアによる「130才トーナメント」（2013年（平成25年）から「140才トーナメント」に変更）が設けられました。2006年（平成18年）には、三菱庭球同好会名で「男子ダブルス選手権試合」が設けられました。そして、2014年（平成26年）に、岩崎美智子様より優勝盃が寄贈され、「女子シングルス選手権試合」が設けられ、男女とも同じ種目の整備が完了しました。

これらのHI盃選手権試合を中心とした各種目庭球試合の総称が「全三菱庭球大会」であり、現在では、三菱企業グループ25社が参加し、各地区の予選も含め、全国的なレベルでますます盛んに繰り広げられています。

第1回HI盃（大正12年東京・染井コート）

HI 盃 NAVI　2026 年（第 11 回）

三菱庭球同好会とコートの歴史

三菱庭球同好会は、1911 年（M44）誕生の「三菱庭球部」を源流とし、今年で 115 年を迎えました。その間の組織とコートの変遷についてご紹介します。

QR コード（同好会 HP＞三菱の庭球＞三菱養和会との関係史）でも詳しくご覧いただけます。

1911　年 (M44)～	**三菱庭球部 誕生** ＜丸ノ内（八重洲）コート＞	丸ノ内建設所跡地に 1 面新設。当時は軟式。 深川佐賀町にも 1 面存在。当時は軟式。
1914　年 (T3)～	**三菱倶楽部庭球部へ** ＜染井の地約 1 万坪（現、巣鴨スポーツセンター）へ移転＞	三菱倶楽部に庭球部を統合。翌 1915 年に染井に 400m トラックとコート 1 面新設。 1916 年第 1 回関東関西戦。1920 年硬式転向。
1922　年 (T11)～	**(*1)三菱庭球同好会発足**＜1925 年に染井 7 面＋岩崎邸 1 面＞	岩崎彦彌太氏が銀製カップを寄贈。翌 **1923 年第 1 回 HI 盃、第 8 回関東関西戦を開催（染井）**。
1940　年 (S15)～	**財団法人 三菱養和会 設立** ＜染井＋1941 年開東閣 2 面＞	三菱倶楽部が三菱合資会社から分離・改組。染井コートを管轄、庭球部は同養和会で活動。
1943　年 (S18)～	戦争によりテニス活動停止 ＜開東閣コート空襲で喪失＞	戦時下と戦後の財閥解体で 1943～1951 年までの 9 年間 HI 盃が中止。
1946　年 (S21)～	「養和会」へ改称（独立経営） **養和会テニスクラブの誕生** ＜染井（修復・一般開放）＞	財閥解体により「三菱」冠称不可。一般会員募集。**(*2) 大淵氏（地所）、野村氏（銀行・重工）等旧三菱勢が主力となり染井で活動を維持。**
1951　年 (S26)～	12 月**三菱庭球同好会 活動再開** ＜千代田銀行 武蔵野コート＞	6 月の彦彌太氏の公職追放解除を受け、翌 **1952 年に HI 盃が復活（千代田銀行コート）**。
1971　年 (S46)～	’71 三菱養和会 旧名復帰	1970 年の三菱創業 100 年を機に名称復帰。
	’73 養和会テニスクラブ閉鎖	染井コートの転活用計画により閉鎖となる。
現在 2026 年	三菱庭球同好会：HI 盃・全三菱庭球大会を継承・発展	三菱養和会：巣鴨スポーツセンターで各種事業運営、テニスはスクールのみとなる。

(*1) 三菱庭球同好会は HI 盃等の大会運営機関で、三菱倶楽部（養和会）庭球部はコートを伴う活動母体。戦後は各社がコートを保有し活動、染井は養和会テニスクラブが活用。

(*2) **財閥解体後、養和会が一般開放されたので、旧三菱横断の連絡機関は H.I.カップ戦以外になく、早期再開の声が挙がった。こうした機運と HI 盃の復活が、三菱グループ各社の連携と結束を強め、大会精神のHorizontal Integration に繋がったと伝えられている。**

三菱倶楽部（丸ノ内）

染井のクラブハウス（岩崎邸一部を移設）

養和会テニスクラブ

HI盃選手権試合・全三菱庭球大会　開催要項

幹事会社　　三菱ケミカルグループ株式会社

三菱ガス化学株式会社

1. 大 会 日 程

日　程	種 目 等	会　場	集合時間等
第 1 日 10月23日(金)	[140才・120才ダブルス] ブロック別リーグ戦	海上 多摩コート (120才ダブルス) 生命 グリーンランドコート (140才ダブルス)	試合開始15分前
第 2 日 10月24日(土)	[HI盃]1回戦 [女子シングルス]ブロック別リーグ戦 [男子ダブルス]ブロック別リーグ戦 [女子ダブルス]ブロック別リーグ戦 [140才・120才ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・2回戦	MUFGパーク	試合開始30分前
第 3 日 10月25日(日)	[HI盃] 準決勝・決勝 [女子シングルス] 決勝 [男子ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・準決勝・決勝 [女子ダブルス] 決勝トーナメント準決勝・決勝 [140才・120才ダブルス] 準決勝・決勝 [東西対抗試合]	MUFGパーク	試合開始30分前
	懇親会	吉祥寺エクセル ホテル東急	17:30開始

※コート割、開始時間、会場案内はP16～P22をご参照ください。

2. 役　　員

委　員　長:	三菱庭球同好会 会長　隅　修　三（東京海上日動）			
副 委 員 長:	福 田 信 夫	（三菱ケミカルグループ）		
	伊 佐 早 禎 則	（三菱ガス化学）		
同好会相談役:	畔 柳 信 雄	（三菱UFJ銀行）		
	大 宮 英 明	（三菱重工業）		
審　判　長:	牧 村 祐 一	（三菱重工業）		
副 審 判 長:	佐 々 立 之	（三菱UFJ銀行）		
ＨＩ盃 委 員:	石 原 徹 弥	（東京海上日動）	長 谷 川 寛	（三菱電機）
	桑 田 信	（三菱ケミカルグループ）	高 瀬 敏 郎	（三菱マテリアル）
	野 村 利 明	（三菱自動車工業）	奥 田 隆 裕	（三菱UFJ銀行）
	羽 島 克 利	（三菱重工業）	井 手 信 彦	（明治安田生命）
	田 村 太 郎	（三菱商事）		
HI盃地区委員:	〔関東〕藤 井 慈 敬（三菱重工業）		〔関西〕天 清 宗 山（三菱電機）	
	〔中京〕橋 本 将 和（三菱重工業）		〔九州〕久 原 健 作（三菱重工業）	

3. 参　加　会　社（25社）

AGC(株)	ENEOSホールディングス(株)	キリンホールディングス(株)
東京海上日動火災保険(株)	(株)ニコン	日本郵船(株)
三菱化工機(株)	三菱ガス化学(株)	三菱ケミカルグループ(株)
三菱地所(株)	三菱自動車工業(株)	三菱重工業(株)
三菱商事(株)	三菱製鋼(株)	三菱製紙(株)
三菱倉庫(株)	(株)三菱総合研究所	三菱電機(株)
三菱電線工業(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)	三菱マテリアル(株)
(株)三菱UFJ銀行	三菱UFJ証券ホールディングス(株)	三菱UFJ信託銀行(株)
明治安田生命保険(相)	（50音順）	

4. 試 合 方 法

〔使用ボール：ダンロップフォート〕
〔コートサーフェイス：HI盃、女子シングルス…クレーコート、その他種目…オムニコート〕

種　目	資 格 等	試 合 形 式
(1)HI盃 （男子シングルス トーナメント）	前回優勝者、 地区代表（関東3、関西2、中京1、九州1）	ベストオブ3タイブレーク セットマッチ
(2)女子シングルス トーナメント	前回優勝者、 地区代表（関東3、関西1、中京1）	予選 2タイブレークセット10ポイント マッチタイブレーク方式 決勝 ベストオブ3タイブレーク セットマッチ
(3)男子ダブルス	前回優勝者、 地区代表（関東9、関西8、中京4、九州2）	予選～決勝T準決勝 8ゲームズプロセットマッチ 決勝 2タイブレークセット10ポイント マッチタイブレーク方式
(4)女子ダブルス	前回優勝者、 地区代表（関東5、関西1、中京1）	予選 8ゲームズプロセットマッチ 決勝トーナメント 2タイブレークセット10ポイント マッチタイブレーク方式
(5)140才トーナメント	本年、男子満68才・女子満58才以上で 合計140才（※女子1人につき10才 減ずる）以上のペアによるブロック別リーグ 予選、決勝トーナメント	1タイブレークセットマッチ ※予選に限りセミアドバンテージ方式、ミックス同士の対戦においては、ディサイディングポイントはサーバーと同性のプレーヤーがレシーブする。レシーバーチームはディサイディングポイントのとき、レシーブする隊形を変えてはいけない。
(6)120才トーナメント	本年、男子満58才・女子満48才以上で 合計120才（※女子1人につき10才 減ずる）以上のペアによるブロック別リーグ 予選、決勝トーナメント	同　上
(7)東西対抗試合	東軍（関東以東）・西軍（中京以西） 男子　東軍11組・西軍10組 ＋本戦単複敗者9組、 女子各2組＋本戦単複敗者3組による対抗戦	8ゲームノーアドバンテージ

5. ブロック内順位決定方法

〔女子シングルス〕

① 各ブロック上位1名が決勝に進出する。
② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
③ 2名が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
④ ファイナル10ptタイブレークは得失セット数には含むが、ゲーム数には含まない。

〔男子ダブルス〕

① 各ブロック上位1組が決勝トーナメントに進出する。
② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
・全試合での取得ゲーム率(%)＝全試合取得ゲーム数÷全試合ゲーム数
※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8－0(不戦敗は0－8)で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。
(例:A対Bの試合で、Aから5－7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9－7で勝利したとして計算する。)
⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

〔女子ダブルス〕

① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
その他の点については上記男子ダブルスの②～⑤項と同様。

〔120才ダブルス〕

① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
・全試合での取得ゲーム率(%)＝全試合取得ゲーム数÷全試合ゲーム数
※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は6－0(不戦敗は0－6)で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。
(例:A対Bの試合で、Aから4－5の時点でBが途中棄権した場合、Aが7－5で勝利したとして計算する。)
⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

〔140才ダブルス〕

① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
その他の点については上記120才ダブルスの②～⑤項と同様。

6. その他特記事項

140才・120才のダブルスについては、ブロック別リーグ予選開始前(10/22(木)17:00まで)に限り、以下の担当者へ理由および出場申込書記入項目を記載したメールにて連絡することによりペアの変更を認めます。ただし、変更後のペアは各種目の出場資格を満たしていることが必要であり、また、選手変更による出場種目の変更はできません。

【担当者】

＊120才トーナメント …木村(shunkim1961@gmail.com)
大内(all3bishiovr120@ymail.ne.jp)

＊140才トーナメント …茂木(yo-mogi-1950@docomo.ne.jp)
一政(ichimasa1007@gmail.com)

諸 注 意 事 項

1. コートへのアクセス、宿舎等

（1）各コートへの交通手段と連絡先は、P19～22をご参照ください。
（2）第1日・第2日は専用バスを運行いたしませんので、各自お越しください。
（3）第3日（MUFGパーク）は専用バスを運行しますので、ご利用ください。
（4）会場への交通・宿舎などについては、各自にてお手配ください。
（5）**MUFGパークへの自家用車でのご来場は第2日のみ可能ですが、第3日は厳禁です。**
海上コート・生命コートは駐車場を利用できます。

2. 更　衣　室

各コートとも、更衣室のロッカーはご利用いただけませんのでお荷物は各自で管理してください。

3. 試 合 進 行 等

（1）試合進行はコート時間割に従って行いますが、変更する場合がありますのであらかじめオーダーオブプレーにてご確認ください。**近隣対策上、試合前の選手呼び出し（場内アナウンス）はいたしません**のでご注意ください。なお、個人のご都合による時間割の変更は受け付けいたしません。
（2）**練習時間は試合進行上、HI盃、女子シングルスは5分以内、その他は3分以内といたしますので厳守願います。**
（3）**進行次第でコートが変わる可能性がありますので、常にOOPを注視してください。**

4. 審　　判

（1）HI盃、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、140才ダブルス、120才ダブルスの決勝は、ソロ・チェア・アンパイアがつきますが、その他の試合はセルフジャッジですのでご協力ください。
（2）試合結果は勝者がスコアカードに記入の上、ボールと一緒に大会本部まで届けてください。

5. 昼　　食

（1）**全日とも昼食の準備はありませんので、各自にてお手配ください。**
なお、第2日・第3日はMUFGパークにキッチンカーが出店する予定です。

6. WO（Walk Over）

（1）所定の時間までに試合前受付がない場合は、原則棄権となります。
（2）やむを得ずWOの場合は、速やかに自社の連絡員経由でご連絡ください。

7. 参　加　費

140才・120才ダブルス参加者は、関東地区5,000円、関東以外3,000円となります。
その他種目の参加者は関東地区4,000円、関東以外は1,000円となりますので、それぞれ各社で取りまとめてください。後日徴収いたします。

8. 雨 天 時 の 対 応

（1）最新情報は、同好会ホームページに掲載いたしますので、各自でご確認ください。
（2）10月25日（日）が雨天で試合中止となった場合は、懇親会のみ16:00から開催しますので、吉祥寺エクセルホテル東急にご集合ください。
（3）会場への電話での問い合わせは厳禁です。
※10/23（金）の生命・海上コートについては、P7「6. その他特記事項」の各担当者にご連絡いただいても構いません。

【同好会ホームページQRコード】

大 会 次 第　10月25日(日)

1. 開　会　式(MUFGパーク)　　(　8:30)

　(1) 挨　　拶　　隅大会委員長

　(2) 優勝盃・優勝旗返還　　隅大会委員長

　(3) 諸　注　意　　牧村審判長

2. 試合開始(コート時間割をご参照)　　(　9:00)

3. 試合終了　　(17:00)

4. 閉会式および懇親会(吉祥寺エクセルホテル東急　8階アンバサダールーム)　　(17:30)

　(1) 開　会　挨　拶　　隅大会委員長

　(2) 幹　事　会　社　挨　拶　　福田大会副委員長

　(3) 乾　　杯　　伊佐早大会副委員長

　(4) 表彰および優勝者挨拶

　　① HI盃優勝者
　　② 女子シングルス優勝者
　　③ 男子ダブルス優勝者
　　④ 女子ダブルス優勝者
　　⑤ 140才ダブルス優勝者
　　⑥ 120才ダブルス優勝者
　　⑦ 東西対抗試合勝者主将

　(5) 閉　会　の　辞　　福田大会副委員長

　(6) 万　才　三　唱　　佐々副審判長

5. 閉　会(解　散)　　(19:00)

6. 記　念　撮　影

　懇親会終了後、HI盃、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、140才ダブルス、120才ダブルスの優勝者、東西対抗試合勝者主将および大会役員は記念撮影を行います。

HI盃選手権試合（男子シングルス）

1. 田　形　諒　平（関東・生命）
2. 荒　木　俊　弥（関西・電機）
3. 佐　藤　大　心（関東・生命）
4. 鈴　木　麻　冬（九州・マテ）
5. 太　田　　翔（関東・生命）
6. 星　木　　昇（中京・海上）
7. 山　中　朝　陽（関東・生命）
8. 串　間　祐　亮（関西・重工）

1回戦：①　②　③　④
準決勝：⑤　⑥
決勝

1922年創設
岩崎彦彌太氏寄贈

女子シングルス

Aブロック	1	竹本　萌乃	（関東・生命）
	2	小副川　莉桜	（関東・生命）
	3	藤田　都花沙	（中京・生命）
Bブロック	1	梶野　桃子	（関西・海上）
	2	一木　理乃	（関東・海上）
	3	木本　海夢夏	（関東・生命）

決勝：Aブロック1位　Bブロック1位

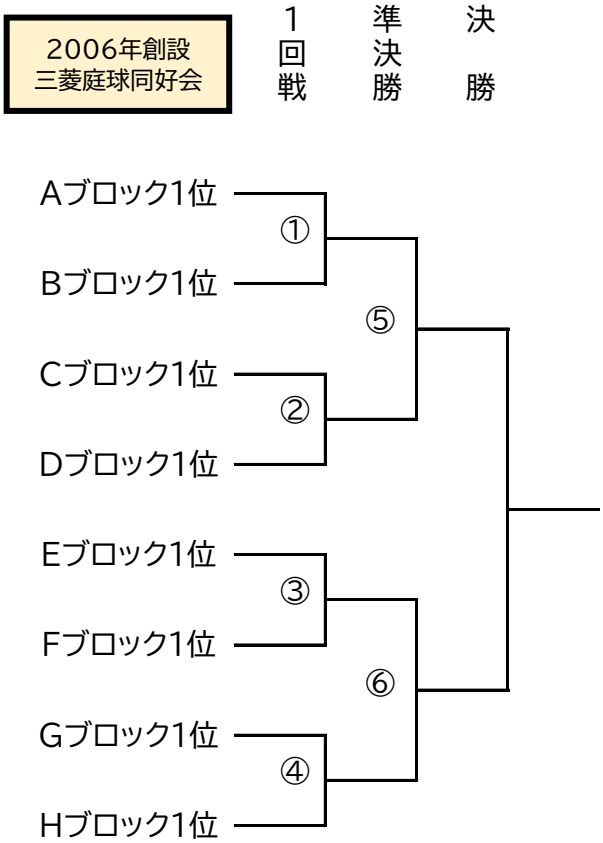
2014年創設
岩崎美智子氏寄贈
（寛彌氏ご令室）

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	片山・関（関東・重工）
	2	野村・田川（関東・自動車）
	3	吉村・永山（関東・海上）
Bブロック	1	中谷・菊池（関西・電機）
	2	宮崎・秋田（関西・ケミカル）
	3	上本・北川（関東・海上）
Cブロック	1	斎藤・白木（関西・電機）
	2	副田・中本（関東・生命）
	3	佐藤・井上（関東・海上）
Dブロック	1	松尾・和氣（中京・自動車）
	2	増成・坂本（関西・電機）
	3	濵田・田島（九州・重工）
Eブロック	1	香山・岡田（関西・電機）
	2	白石・高山（中京・マテ／電機）
	3	矢島・増成（関東・生命）
Fブロック	1	大谷・豊田（関西・ケミカル）
	2	石原・河村（九州・重工）
	3	五嶋・橋本（中京・重工）
Gブロック	1	杉田・川口（関西・重工）
	2	江頭・伊藤（関東・生命）
	3	安上・有本（関東・海上）
Hブロック	1	水野・大石（中京・電機）
	2	星村・樋口（関東・生命）
	3	鬼塚・深作（関西・電機）

2006年創設
三菱庭球同好会

決勝トーナメント



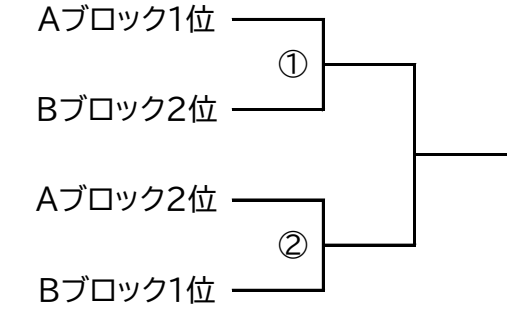
女子ダブルス

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	野崎・中村（関西・電機）
	2	波多野・黒木（関東・海上）
	3	高山・名村（関東・郵船）
	4	左藤・中村（関東・生命）
Bブロック	1	猪瀬・清水（関東・生命）
	2	下地・市川（関東・海上）
	3	春日・守屋（中京・重工）
	4	辻井・杉本（中京・電機）

1972年創設
岩崎操子氏寄贈
（彦彌太氏令室）

決勝トーナメント



140才ダブルス

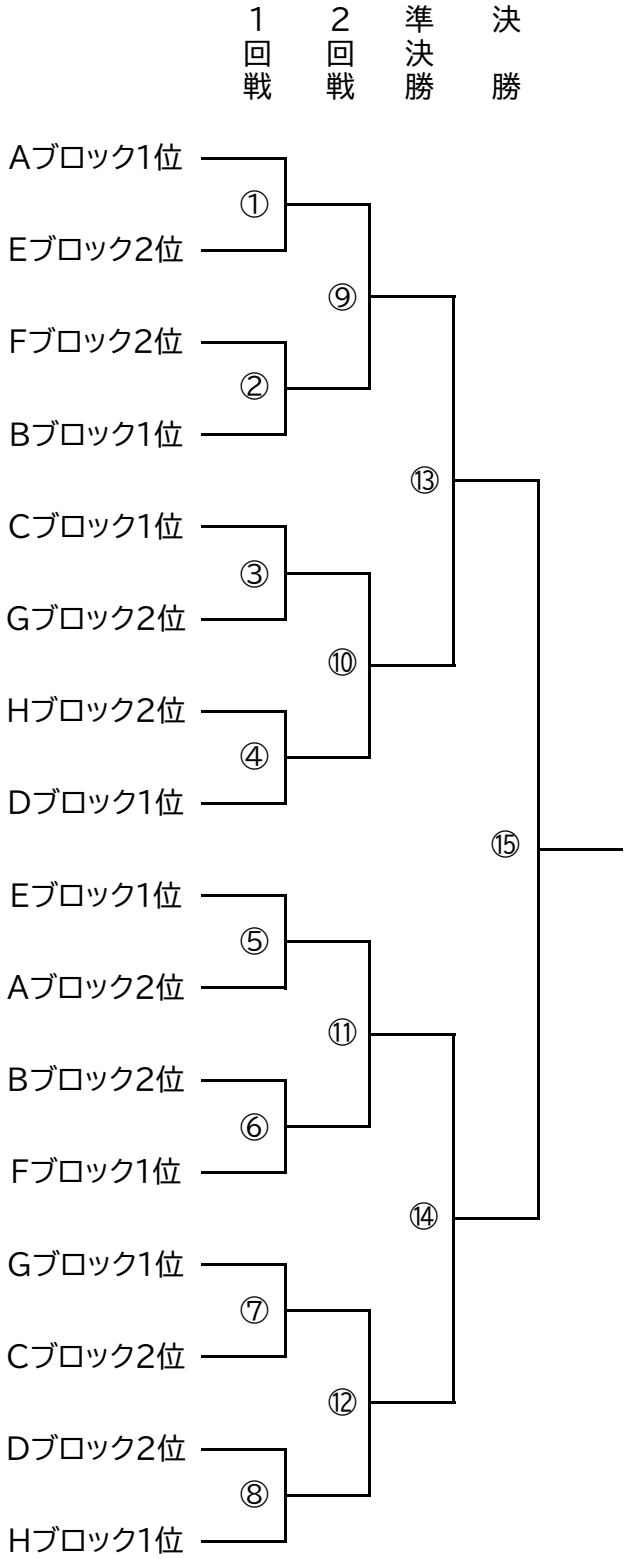
1983年創設
岩崎寛彌氏寄贈
（彦彌太氏令息）

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	海老名 ・ 阿　部	（海　上）
	2	越　村 ・ 杉　本	（マテリアル）
	3	有　馬 ・ 渡　邉	（商　事）
	4	-	-
Bブロック	1	小　宮 ・ 安　川	（商　事）
	2	竹　下 ・ 堤	（ケミカル・海上）
	3	横　尾 ・ 茂　木	（銀　行）
	4	安　徳 ・ 榊　原	（自動車）
Cブロック	1	大　塩 ・ 中島(*)	（銀　行）
	2	吉　田 ・ 松　永	（ふそう）
	3	黒　井 ・ 小　島	（商　事）
	4	-	-
Dブロック	1	牧　村 ・ 村　松	（重工・信託）
	2	小　林 ・ 徳　田	（商　事）
	3	鈴　木 ・ 西　岡	（生命・海上）
	4	-	-
Eブロック	1	矢　野 ・ 小　林	（ケミカル）
	2	田　中 ・ 小　林	（ＥＮＥＯＳ）
	3	太　田 ・ 天　目	（信　託）
	4	朝　倉 ・ 今　西	（商　事）
Fブロック	1	加　藤 ・ 安　福	（電　機）
	2	木　村 ・ 新　子	（商　事）
	3	一　政 ・ 沓　掛	（重工・ふそう）
	4	-	-
Gブロック	1	勇　内 ・ 志　賀	（電　機）
	2	山　本 ・ 笠　原	（銀　行）
	3	君　塚 ・ 佐　藤	（海　上）
	4	-	-
Hブロック	1	武　田 ・ 保坂(*)	（商　事）
	2	桑　田 ・ 福　寺	（信　託）
	3	米　田 ・ 久　保	（マテリアル）
	4	-	-

※(*)は女子

決勝トーナメント



120才ダブルス

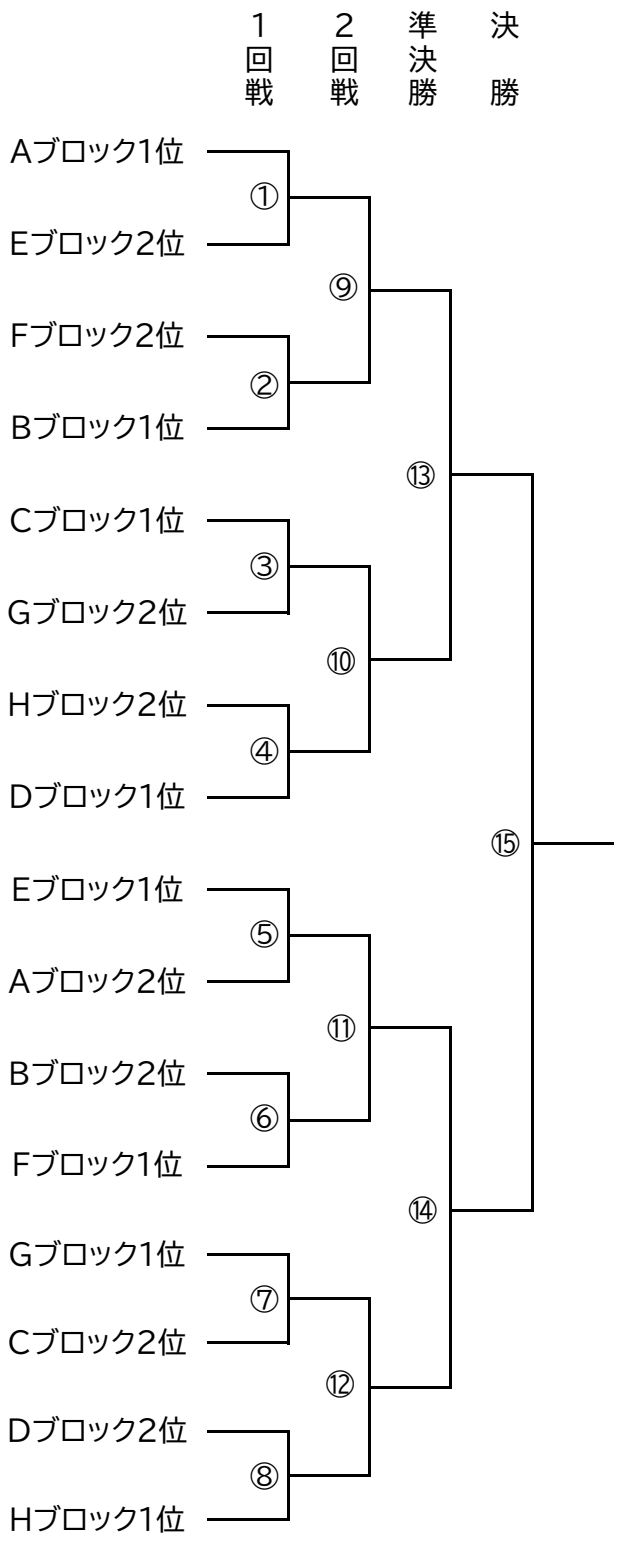
1952年創設
岩崎彦彌太氏寄贈

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	宮下	遠藤（電機）
	2	柏木	武田（商事）
	3	酒井	神保（信託）
	4	-	-
Bブロック	1	松山	松山(*)（銀行）
	2	大迫	大迫(*)（地所）
	3	生川(*)	生川(*)（電機・自動車）
	4	木村	横田(*)（電機）
Cブロック	1	高橋	唐澤(*)（生命・商事）
	2	松岡	岡崎（電機）
	3	松本	西澤（信託）
	4	三原	三宅（電線）
Dブロック	1	矢部	山崎（商事）
	2	加藤	丸山（ケミカル）
	3	梅津	内田（銀行）
	4	-	-
Eブロック	1	佐々	沼（銀行）
	2	片山	溝口（ENEOS・自動車）
	3	伊藤	小川（重工）
	4	-	-
Fブロック	1	岡田	三浦（海上）
	2	箸本	山岸（商事）
	3	阿波	永澤（マテリアル）
	4	内藤	三島（ガス化学）
Gブロック	1	山本	鳥居（マテリアル）
	2	酒徳	大内（ケミカル）
	3	中山	市村（電機）
	4	石川	伊藤（ENEOS）
Hブロック	1	山室	寺田（海上）
	2	稲森	今井（自動車）
	3	丹下	鈴木（銀行）
	4	-	-

※(*)は女子

決勝トーナメント



東西対抗試合

東 軍	西 軍

＜男子ダブルス＞

■本エントリー

※色付きのマスは同じ軍同士の対戦

Aブロック	寒作・小久保(銀行)	塚本・名越(銀行・海上)	山田・田村(生命)
寒作・小久保(銀行)			
塚本・名越(銀行・海上)	①		
山田・田村(生命)	②	③ 交流試合	

Bブロック	佐藤・野坂(銀行)	藤岡・中塚(海上)	高山・中村(生命)
佐藤・野坂(銀行)			
藤岡・中塚(海上)	①		
高山・中村(生命)	②	③ 交流試合	

Cブロック	中島・髙橋(海上)	田村・吉川(ふそう)	山田・田中(電機)
中島・髙橋(海上)			
田村・吉川(ふそう)	① 交流試合		
山田・田中(電機)	②	③	

Dブロック	平田・佐藤(重工・銀行)	大野・岩月(倉庫)	長沼・釘宮(海上)
平田・佐藤(重工・銀行)			
大野・岩月(倉庫)	① 交流試合		
長沼・釘宮(海上)	②	③	

Eブロック	平野・木村(化工機)	久保・高鍋(ENEOS)	佐野・福住(マテ)
平野・木村(化工機)			
久保・高鍋(ENEOS)	① 交流試合		
佐野・福住(マテ)	②	③	

Fブロック	石松・中川(重工)	石毛・中根(マテ)	上ヶ島・平賀(ガス化)
石松・中川(重工)			
石毛・中根(マテ)	① 西軍同士		
上ヶ島・平賀(ガス化)	②	③	

Gブロック	小野・椎木(倉庫)	渡邉・岡本(製鋼)	磯谷・池上(ガス化)
小野・椎木(倉庫)			
渡邉・岡本(製鋼)	① 交流試合		
磯谷・池上(ガス化)	②	③	

■男子ダブルスからのエントリー

A2位		H①		B2位
A3位		H②		B3位
C2位		H③		D2位
C3位		H④		D3位
E2位		H⑤		F2位
E3位		H⑥		F3位
G2位		H⑦		H2位
G3位		H⑧		H3位

■HI盃からのエントリー(旧特別試合)

S:1～4		H⑨		S:5～8

東西対抗試合

東 軍	西 軍

＜女子ダブルス＞
■本エントリー

女子	綾部・厚見（倉庫）	加藤・藤原（生命）	奥澤・濵家（銀行）
綾部・厚見（倉庫）			
加藤・藤原（生命）	①		
奥澤・濵家（銀行）	②	③交流試合	

■女子ダブルスからのエントリー

A3位		④		B3位
A4位		⑤		B4位

■女子シングルスからのエントリー

S：Aブロック		⑥		S:Bブロック

1952年創設
三菱庭球同好会

■東西対抗の勝敗
東軍と西軍の対戦の勝利数で競います。
同じ軍同士の対戦は交流試合とし、勝敗には数えません。

第1日(10月23日(金))コート時間割

生　命　コ　ー　ト							
集合	試合開始	4	5	6	7	8	9
9:45	10:00	140才ブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・2	B1・2	~~B3・4~~	C1・2	D1・2	F1・2
10:25	10:45	140才ブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		E1・2	E3・4	G1・2	H1・2	D2・3	F2・3
11:05	11:25	140才ブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		E1・3	E2・4	A2・3	C2・3	B1・3	~~B2・4~~
11:45	12:05	140才ブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		G2・3	H2・3	A1・3	C1・3	D1・3	F1・3
	12:45	140才ブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		G1・3	H1・3	~~B1・4~~	B2・3	E1・4	E2・3

海　上　コ　ー　ト							
集合	試合開始	1	2	3	4	5	6
9:45	10:00	120才ブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・2	B1・2	B3・4	C1・2	C3・4	D1・2
10:25	10:45	120才ブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		E1・2	F1・2	F3・4	G1・2	G3・4	H1・2
11:05	11:25	120才ブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		~~A2・3~~	B1・3	B2・4	C1・3	C2・4	D2・3
11:45	12:05	120才ブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		E2・3	F1・3	F2・4	G1・3	G2・4	H2・3
	12:45	120才ブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		~~A1・3~~	B1・4	B2・3	C1・4	C2・3	D1・3
	13:25	120才ブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		E1・3	F1・4	F2・3	G1・4	G2・3	H1・3

第2日(10月24日(土))コート時間割

	MUFGパーク										
時間 / コートNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
8:30											
9:00	女子シングルス(ブロックリーグ)			140才(1回戦)							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
				120才(1回戦)							
10:00	B1-B2	A1-A2		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
				140才(2回戦)				120才(2回戦)			
				⑨	⑩	⑪	⑫	⑨	⑩	⑪	⑫
11:00	HI盃(1回戦)										
	②	①									
12:00				男子ダブルス(ブロックリーグ)				女子ダブルス(ブロックリーグ)			
	女子シングルス(ブロックリーグ)			A1-A2	B1-B2	C1-C2	D1-D2	A1-A2	A3-A4	B1-B2	B3-B4
13:00	B1-B3	A1-A3		E1-E2	F1-F2	G1-G2	H1-H2	A1-A3	A2-A4	B1-B3	B2-B4
14:00	HI盃(1回戦)			A1-A3	B1-B3	C1-C3	D1-D3	A1-A4	A2-A3	B1-B4	B2-B3
	④	③									
15:00				E1-E3	F1-F3	G1-G3	H1-H3	A2-A3	B2-B3	C2-C3	D2-D3
	女子シングルス(ブロックリーグ)										
16:00	B2-B3	A2-A3		E2-E3	F2-F3	G2-G3	H2-H3				
17:00	フリーコート ： 希望者は、当日会場でサインアップ願います。										

※○囲いの中の数値は各種目ドロー内の数字に対応しています。
例)男子D(1回戦)① ･･･男子ダブルスドローAブロック1位とBブロック1位の対戦
東西対抗 男子 A①･･･東西対抗 男子 本エントリーAブロックの①の対戦
東西対抗 男子 ① ･･･東西対抗 男子の「本大会からのエントリー」①の対戦

第3日(10月25日(日))コート時間割

時間 ＼ コートNo.	MUFGパーク										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
8:30	開会式(必ずご参加ください)										
9:00	HI盃 (準決勝) ⑥	HI盃 (準決勝) ⑤		女子ダブルス (準決勝) ①	②	男子ダブルス (1回戦) ①	②	③	④	東西対抗 女子 ①	④
10:00						140才ダブルス (準決勝) ⑬	⑭	120才ダブルス (準決勝) ⑬	⑭	東西対抗 男子 A①	B①
11:00	東西対抗 男子 H①			男子ダブルス (準決勝) ⑤	⑥	東西対抗 男子 C①	D①	E①	F①	G①	東西対抗 女子 ②
12:00				140才ダブルス (決勝)	120才ダブルス (決勝)	東西対抗 男子 A②	B②	H②	H③	東西対抗 女子 ⑤	東西対抗 女子 ⑥
13:00	HI盃 (決勝)	女子シングルス (決勝)		女子ダブルス (決勝)	男子ダブルス (決勝)	東西対抗 男子 C②	D②	E②	F②	G②	H④
14:00						東西対抗 男子 H⑤	H⑥	H⑦	H⑧	H⑨	東西対抗 女子 ③
15:00				東西対抗 男子 A③	B③	C③	D③	E③	F③	G③	
16:00											
17:00											
17:30											
18:00	懇　親　会 (於 吉祥寺エクセルホテル東急)										
19:00											

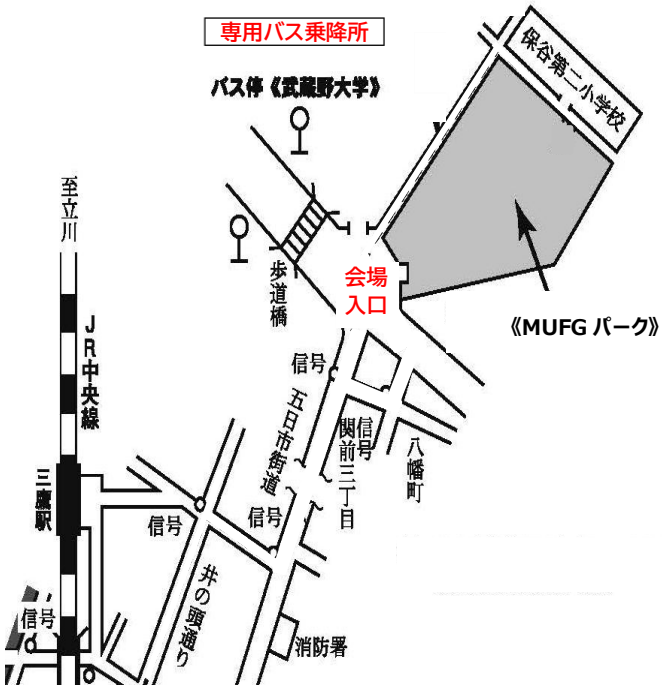
○注意事項

1.出場選手は必ず開会式にご参加ください。ただし、東西対抗出場選手等で当日移動の方は除きます。
2.練習時間は試合進行上、HI盃および女子シングルスは5分以内、その他は3分以内といたしますので厳守ください。
3.進行は本部横に掲示いたしますので、各自前広にご確認ください。
4.大会役員の方は、11:30よりクラブハウス2階にて昼食会を行います。
HI盃および女子シングルス出場選手は選手紹介を行いますのでご参集ください。
5.東西対抗男子H①は1or2コートの空いた方で実施します。

※○囲いの中の数値は各種目ドロー内の数字に対応しています。
例)男子D(1回戦)①　・・・男子ダブルスドローAブロック1位とBブロック1位の対戦
　東西対抗 男子 A①・・・東西対抗 男子 本エントリーAブロックの①の対戦
　東西対抗 男子 H①・・・東西対抗 男子の「男子ダブルスからのエントリー」H①の対戦

大会会場案内図(1)《MUFGパーク》

東京都西東京市柳沢4－4－40
TEL：042-452-3125



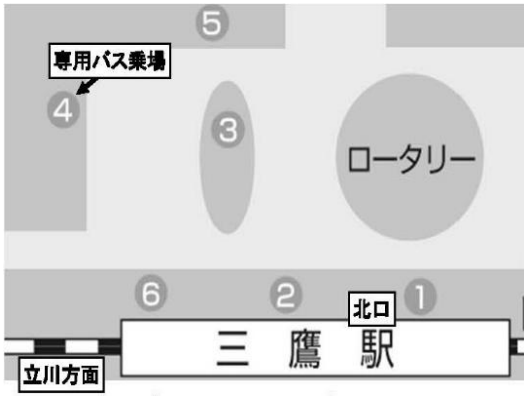
●10/24(土) 会場へのアクセス

＜バス＞
三鷹駅北口から関東バスをご利用ください。
3番バスのりばから「鷹30, 33, 34」に乗車後、
「武蔵野大学」で下車してください(約10分)。
＜自家用車＞
東ゲートより入場し、有料駐車場に駐車願います。
(10/24(土)のみ選手・応援関係者も利用可能です。)

●10/25(日) 会場へのアクセス

下表のとおり専用バス(各便とも大型1台)を運行しますので、ご利用ください。＜自家用車不可＞
※専用バスの前後に「全三菱庭球大会」のステッカー貼付

発 車		到 着	
7:40	三 鷹 駅	7:50	MUFGパーク
7:50	三 鷹 駅	8:00	MUFGパーク
8:00	三 鷹 駅	8:10	MUFGパーク
8:10	三 鷹 駅	8:20	MUFGパーク
15:50	MUFGパーク	16:15	吉祥寺エクセルホテル東急
16:00	MUFGパーク	16:25	吉祥寺エクセルホテル東急
16:40	MUFGパーク	17:05	吉祥寺エクセルホテル東急
16:50	MUFGパーク	17:15	吉祥寺エクセルホテル東急



【MUFGパーク 駐車場アクセス方法詳細】

・10/25(日)の駐車場は、各社役員、来賓、大会役員の車に限定させていただきます。
・運転手の方は、駐車券を本部へお持ちください。
(幹事にて精算処理を行います)
・パークからの帰路は、駐車場出口からの道路が一方通行のため、右折しかできませんのでご注意ください。
・当局からの強い指導により周辺道路への違法駐車等は厳に慎んでください。

●選手の皆さんへお願い

- MUFGパークでの大会時の配置は以下のとおりです。
- メインゲート(南)・東ゲート(駐車場用。10/24(土)のみ選手・応援関係者も利用可)からご入場ください。※ライブラリーゲート・北ゲートは終日閉鎖されておりますのでご注意ください。
- 10/24(土)はテニスコート・クラブハウス以外の施設を一般の方が利用します。
  一般の方の活動に支障をきたさないように、ご配慮とご協力をお願いします。
  同日は待機エリアを利用できません。また、更衣室・シャワー、トイレ等は原則クラブハウスの設備をご利用ください。
- 10/25(日)はパーク全体を貸し切りとしております。
- 試合進行はコート時間割に従って行いますが、変更する場合がありますのであらかじめオーダーオブプレーにてご確認ください。
  近隣対策上、試合前の選手呼び出し(場内アナウンス)はいたしませんのでご注意ください。
- 会場内、キッチンカーが複数予定されておりますので、ご利用ください。

大会会場案内図(2)

《明治安田グリーンランドテニスコート》

<八王子駅から車で明治安田グリーンランドまでの行き方>
所要時間:約20分

<戸吹停留所から徒歩で明治安田グリーンランドまでの行き方>
所要時間:約8分

◆名称:明治安田グリーンランド
◆住所:東京都八王子市戸吹町150
◆施設:テニスコート、クラブハウス(男女各シャワー室、更衣室)
◆交通
①車　　※駐車場あり
八王子駅から約20分

②バス
京王八王子駅4番乗り場、またはJR八王子駅北口12番乗り場から西東京バス
・【ひ01】系統 戸吹行き、又は【ひ07】系統 秋川駅行き、
又は【ひ08】系統 戸吹スポーツ公園入口行き乗車(約30分)、
戸吹停留所下車徒歩8分

JR五日市線秋川駅2番乗り場から西東京バス
・【ひ07】系統 京王八王子駅行き(約25分)戸吹停留所下車徒歩8分
※秋川駅ではタクシーの呼び出しができませんのでご注意ください

京王八王子駅バス時刻表

JR八王子駅北口は2分後の出発

【平日】

8時	03 ト	23	53 ア
9時	23		53 ア
10時	25		55 ア

無印　:戸吹スポーツ公園入口行き
ア　　:秋川駅行き
ト　　:戸吹行き

JR秋川駅バス時刻表

【平日】

8時	46
9時	46

雨天時開催可否の会場への問合せは厳禁です。
開催可否は下記ホームページ、またはP.7の6項(その他特記事項)にある
会場担当者に確認願います。

【同好会ホームページQRコード】

大会会場案内図（3）

《東京海上日動多摩総合グランド》

八王子市別所2－57

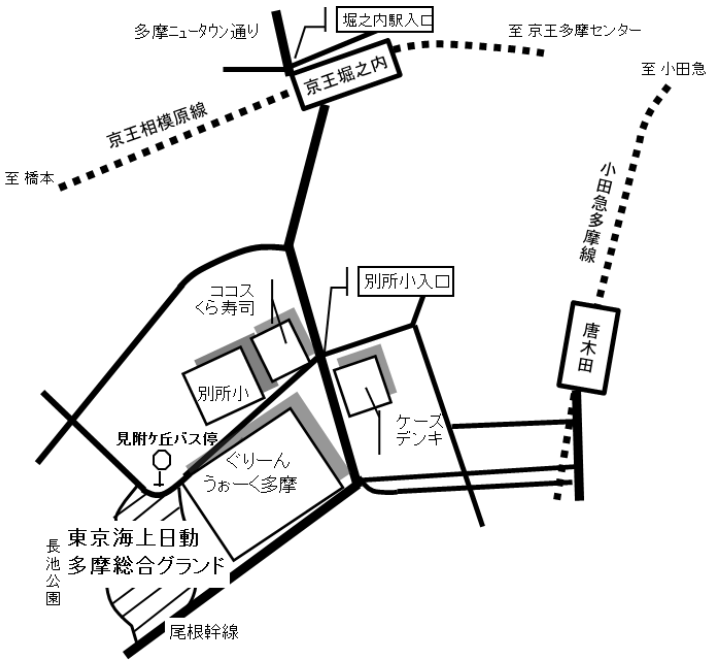
① 京王相模原線
「京王堀之内」駅よりバス
「見附橋循環」（のりば④番）
にて「見附ヶ丘」下車

京王堀之内駅バス時刻表

【平日】

8時	20	50
9時	20	50
10時	20	50

見附橋循環行き



② 京王相模原線
「京王堀之内」駅
または小田急多摩線
「唐木田」駅より
タクシー利用

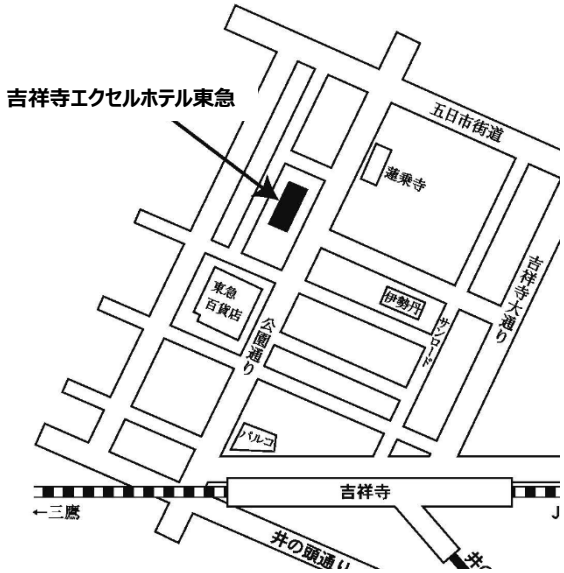
マイカーでもご来場いただけます

雨天時開催可否の会場への問合せは<u>厳禁</u>です。
開催可否は下記ホームページ、または P.7 の 6 項（その他特記事項）にある会場担当者に確認願います。

【同好会ホームページ QR コード】

懇親会 会場案内図

吉祥寺エクセルホテル東急
8階宴会場「アンバサダールーム」



・懇親会のドレスコードはカジュアルです。
・地下駐車場は、大会役員、来賓のみ利用できます。
・1階玄関前は混雑しますので、懇親会閉会後は
速やかに移動願います。

2025年度　第74回　優勝者

＜　＞内はプレゼンター

HI盃　田形諒平選手(生命)
＜岩﨑俊吉様＞

女子シングルス　竹本萌乃選手(生命)
＜岩﨑早穂様＞

男子ダブルス　中村・大田ペア(電機)
＜漆間社長(電機)＞

女子ダブルス　清水・三浦ペア(生命)
＜畔柳相談役(銀行)＞

140才トーナメント　加藤・浅葉ペア(電機)
＜徳成社長(ニコン)＞

120才トーナメント　長谷川・広瀬ペア(ケミカル)
＜眞田副社長(製紙)＞

※東西対抗(雨天中止)

HI盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表

Ⅰ.復活前

回数	年 度	開催地	委員長	HI盃	関東関西戦	
					回数	勝者
	1916 大正5	神 戸			1	雨天の為中止
	1917 大正6	東 京			2	記録なし
	1918 大正7	神 戸			3	米騒動の為中止
	1919 大正8	名古屋			4	記録なし
	1920 大正9	名古屋			5	記録なし
	1921 大正10	東 京			6	関東
	1922 大正11	名古屋		10月カップ創設　　軟式から硬式へ	7	記録なし
1	1923 大正12	東 京	河手捨二 （商事取締役）	岩永侃爾（門司・鉱業）	8	関西 7－5
2	1924 大正13	神 戸	山口泉吉 （重工神戸造船所長）	青木岩雄（東京・銀行）	9	関東 9－6
3	1925 大正14	名古屋	松本辰三郎 （内燃名古屋製作所長）	扇山正男（名古屋・内燃）	10	関東 9－4
4	1926 大正15	東 京	荘田達弥 （造船研究所長）	岩永侃爾（東京・鉱業）	11	関東 12－3
5	1927 昭和2	神 戸	徳大寺則麿 （重工神戸造船所長）	青木岩雄（東京・銀行）	12	関東 10－5
6	1928 昭和3	東 京	三好重道 （製鉄取締役）	神田道朝（関西・保険）	13	関東 8－7
7	1929 昭和4	神 戸	山室宗文 （銀行常務取締役）	青木岩雄（関東・銀行）	14	関西 10－5
8	1930 昭和5	東 京	荘田達弥 （造船研究所長）	牧野 元（関東・航空）	15	関東 8－6，1分
9	1931 昭和6	神 戸	徳大寺則麿 （重工神戸造船所長）	牧野 元（関東・航空）	16	関西 12－2，1分
10	1932 昭和7	東 京	三好重道 （製鉄取締役）	志村彦七（中京・航空）	17	関西 8－7
11	1933 昭和8	神 戸	田中金之助 （倉庫取締役）	後藤 長（中京・航空）	18	関西 12－3
12	1934 昭和9	名古屋	本間亀吉 （電機名古屋製作所長）	後藤 長（中京・重工）	19	関東 11－4
13	1935 昭和10	東 京	佐藤梅太郎 （合資参与総務課長）	後藤 長（中京・重工） 決勝は5→3セットマッチへ	20	関東 10－5
14	1936 昭和11	神 戸	玉井喬介 （重工社長）	石井小一郎（関東・地所）	21	関西 8－6，1分
15	1937 昭和12			中止	22	
16	1938 昭和13	東 京	間 四郎 （電機常務取締役）	志村彦七（中京・重工）	23	関西 8－7
17	1939 昭和14	名古屋	後藤直太 （重工取締役）	志村彦七（中京・重工）	24	雨天中止
18	1940 昭和15	東 京	間 四郎 （電機常務取締役）	中野文照（関東・鋼材） ＜ダブルス＞熊谷一彌・関沢房豊	25	関西 9－6
19	1941 昭和16			中止	26	中止
20	1942 昭和17	東 京	間 四郎 （電機常務取締役）	林 新緑（関西・電機） ＜ダブルス＞田村亮・扇山忠男	27	記録なし

Ⅱ. 復活後

回数	年 度	開催地	委員長	HI盃	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	東西対抗試合
1	1952 昭和27	東 京	石黒俊夫 （本社精算人）	藤倉五郎 （金商）	100才→	岩崎彦彌太・ 山岸成一		関東 10-3, 3分
2	1953 昭和28	神 戸	藤井深造 （新重工社長）	藤倉五郎 （金商）		住友・池上 （電機）		関東 13-6
3	1954 昭和29	名古屋	高杉普一 （電機社長）	藤倉五郎 （金商）		富田・河尻 （金属・金商）		関東 19-5
4	1955 昭和30	東 京	石黒俊夫 （地所社長）	藤倉五郎 （金商）		西 ・神田 （商事・海上）		関西 18-12
5	1956 昭和31	大 阪	古村誠一 （金属鉱業社長）	藤倉五郎 （金商）		西 ・服部 （商事・新重工）		関西 19-13, 1分
6	1957 昭和32	東 京	高垣勝次郎 （商事社長）	藤倉五郎 （金商）		藤島・森野 （銀行・海上）		関東 21-17
7	1958 昭和33	大 阪	伊藤保次郎 （鉱業社長）	寺岡健吾 （化成）	105才→	石井・高萩 （地所・鉱業）		関西 23-14
8	1959 昭和34	東 京	佐藤 尚 （造船社長）	石黒 修 （電機）		雨天中止		雨天中止
9	1960 昭和35	東 京	桜井俊記 （重工社長）	石黒 修 （電機）		鈴木・山岸 （金属・商事）		関西 21-17
10	1961 昭和36	東 京	柴田周吉 （化成社長）	石黒 修 （電機）		石井・武井 （地所）		関東 24-21
11	1962 昭和37	大 阪	浜川友十郎 （倉庫社長）	石黒 修 （電機）		樋口・古矢 （銀行）		関東 23-22
12	1963 昭和38	東 京	宇佐美 洵 （銀行頭取）	石黒 修 （電機）	110才→	中山・山岸 （金属・商事）		関東 26-19
13	1964 昭和39	東 京	藤岡信吾 （石油社長）	石黒 修 （電機）		大淵・塚田 （地所）		関東 29-18
14	1965 昭和40	東 京	千頭暎臣 （信託社長）	藤井道雄 （電機）		山岸・柴田 （商事・化成）		関東 27-23
15	1966 昭和41	大 阪	藤野忠次郎 （商事社長）	藤井道雄 （電機）		樋口・一法師 （銀行・商事）		関東 36-17
16	1967 昭和42	東 京	河野文彦 （重工社長）	山岸 孝 （明生）		浅田・塚田 （銀行）		関東 41-18
17	1968 昭和43	東 京	野村義門 （重工顧問）	山岸 孝 （明生）		大藤・山岸(二) （ｾﾒﾝﾄ・商事）		関東 36-22
18	1969 昭和44	東 京	有吉義彌 （郵船社長）	藤井道雄 （電機）		岩倉・山岸(二) （郵船・商事）		関東 39-28
19	1970 昭和45	東 京	牧田与一郎 （重工社長）	山岸 孝 （明生）		堤 ・塚田 （銀行）		関東 33-24,13分
20	1971 昭和46	東 京	田実 渉 （銀行会長）	大日方昭太 （海上）		岡本・三好 （金属）		関東 42-28
21	1972 昭和47	東 京	藤野忠次郎 （商事社長）	藤井道雄 （電機）		河尻・藤倉 （金商）	島野・青井 （海上・重工）	関東 43-31
22	1973 昭和48	東 京	中田乙一 （地所社長）	山岸 孝 （明生）		雨天中止	原・市井 （海上）	雨天中止
23	1974 昭和49	東 京	古賀繁一 （重工会長）	宮川善文 （大日）		雨天中止	小畠・塚本 （電機）	雨天中止
24	1975 昭和50	東 京	古賀繁一 （重工会長）	辻本 豊 （レイヨン）		田中・筧 （重工）	島野・塚本 （海上・電機）	関東 41-35, 1分
25	1976 昭和51	東 京	古賀繁一 （重工会長）	有沢三治 （油化）		雨天中止	島野・塚本 （海上・電機）	雨天中止
26	1977 昭和52	東 京	古賀繁一 （重工相談役）	藤井道雄 （電機）		北岡・高橋 （電機）	針谷・中井 （重工）	関東 54-28
27	1978 昭和53	東 京	古賀繁一 （重工相談役）	藤井道雄 （電機）	115才→	関口・西尾 （重工）	三枝・堀毛 （電機）	関東 44-37, 1分
28	1979 昭和54	東 京	古賀繁一 （重工相談役）	藤井道雄 （電機）		御供・林田 （重工・製鋼）	西浦・三枝 （電機）	関東 49-33
29	1980 昭和55	東 京	古賀繁一 （重工相談役）	小柳健一 （商事）		吉岡・佐久間 （ｷｬﾀ・重工）	作山・植村 （化成）	関東 41-20, 21分

回数	年 度	委員長	HI盃	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	男子 ダブルス	東西 対抗戦
30	1981 昭和56	古賀繁一 （重工相談役）	小柳健一 （商事）		櫟原・古賀 （化成・樹脂）	作山・植村 （化成）		関東 49-33
31	1982 昭和57	田部文一郎 （商事会長）	武田 彰 （商事）	130才↓	中野・高橋 （電機）	島野・今井 （海上・重工）		関東 40-37, 5分
32	1983 昭和58	田部文一郎 （商事会長）	辻本 豊 （レイヨン）	安川・吉岡 （キャタ）	北岡・中野 （電機）	島野・今井 （海上・重工）		関東 33-27,22分
33	1984 昭和59	田部文一郎 （商事会長）	辻本 豊 （レイヨン）	末延・関口 （重工）	妹尾・青木 （銀行）	島野・今井 （海上・重工）		関東 47-34, 1分
34	1985 昭和60	田部文一郎 （商事会長）	辻本 豊 （レイヨン）	小西・富取 （銀行）	原田・佐久間 （商事・重工）	島野・今井 （海上・重工）		関東 48-34
35	1986 昭和61	田部文一郎 （商事会長）	沢 英樹 （化成）	関口・高田 （重工）	御供・青木 （重工・銀行）	島野・今井 （海上・重工）		関西 46-38
36	1987 昭和62	鈴木永二 （化成会長）	沢 英樹 （化成）	原田・川崎 （商事・石油）	高橋・鈴木 （電機）	島野・今井 （海上・重工）		関東 46-37
37	1988 昭和63	鈴木永二 （化成会長）	昭和天皇御病気の為中止					
38	1989 平成元	鈴木永二 （化成会長）	岩原慎二 （化成）	川崎・筧 （石油・自工）	貴志・庄野 （化成）	芥川・善積 （化成）		関東 45-39
39	1990 平成2	鈴木永二 （化成会長）	辻本 豊 （レイヨン）	原田・上田 （商事）	豊福・金子 （化成・郵船）	芥川・善積 （化成）		関東 50-31, 3分
40	1991 平成3	飯田庸太郎 （重工会長）	藤井 淳 （商事）	古賀・櫟原 （化成）	瀬口・須藤 （化成・重工）	佐野・溝口 （化成・海上）		関東 28-21,35分
41	1992 平成4	飯田庸太郎 （重工会長）	藤井 淳 （商事）	坂尾・伊丹 （キリン）	瀬口・福井 （化成）	佐野・溝口 （化成・海上）		関東 49-29, 6分
42	1993 平成5	飯田庸太郎 （重工会長）	辻本 豊 （レイヨン）	山田・宮本 （アルミ）	青木・荒木 （銀行）	善積・溝口 （化成・海上）		関東 52-32
43	1994 平成6	飯田庸太郎 （重工会長）	田村太郎 （商事）	川崎・上田 （石油・商事）	山口・高見 （レイヨン）	前田・早川 （化学）		関東 38-28,18分
44	1995 平成7	飯田庸太郎 （重工相談役）	杉本長太郎 （化学）	雨天中止	雨天中止	金子・坂田 （明生）		雨天中止
45	1996 平成8	飯田庸太郎 （重工相談役）	渡辺 啓 （化学）	伊丹・好士 （キリン）	山守・田中 （化学）	金子・坂田 （明生）		関東 47-37
46	1997 平成9	藤村正哉 （ﾏﾃﾘｱﾙ会長）	長谷川 寛 （電機）	雨天中止	雨天中止 120才↓	渡辺・工藤 （明生）		雨天中止
47	1998 平成10	藤村正哉 （ﾏﾃﾘｱﾙ会長）	古村賢紀 （電機）	川崎・櫟原 （石油・化学）	小杉・大日方 （銀行）	渡辺・杉山 （明生）		関東 52-32
48	1999 平成11	藤村正哉 （ﾏﾃﾘｱﾙ会長）	塚原 識 （銀行）	花岡・沼田 （電機）	浦中・梅沢 （化学）	瀧澤・小椰 （化学）		関東 49-34, 1分
49	2000 平成12	藤村正哉 （ﾏﾃﾘｱﾙ会長）	塚原 識 （銀行）	平岡・土肥 （重工・電機）	初澤・池田 （電機）	瀧澤・小椰 （化学）		関西 42-41, 1分
50	2001 平成13	藤村正哉 （ﾏﾃﾘｱﾙ相談役）	古村賢紀 （電機）	沼田・桝井 （電機）	岡崎・石山 （石油）	瀧澤・小椰 （化学）		関東 47-27
51	2002 平成14	藤村正哉 （ﾏﾃﾘｱﾙ相談役）	塚原 識 （銀行）	宮田・須藤 （重工）	瀧口・梅沢 （化学）	瀧澤・小椰 （化学）		関西 41-31
52	2003 平成15	藤村正哉 （ﾏﾃﾘｱﾙ相談役）	古村賢紀 （電機）	宮田・竹部 （重工・キリン）	神田・小杉 （銀行）	瀧澤・小椰 （化学）		関西 26-20
53	2004 平成16	岸 暁 （銀行相談役）	古村賢紀 （電機）	雨天中止	雨天中止	今城・吉井 （海上）		雨天中止
54	2005 平成17	岸 暁 （銀行相談役）	古村賢紀 （電機）	池田・片寄 （電機）	毎野・西 （商事）	安井・星 （生命）		関東 28-23
55	2006 平成18	岸 暁 （銀行相談役）	古村賢紀 （商事）	佐伯・津田 （SCM・重工）	出口・近藤 （重工）	市川・原 （海上）	江頭・塩谷 （生命）	関東 16-9
56	2007 平成19	岸 暁 （銀行相談役）	前田信二 （銀行）	瀧口・高見 （化学・ﾚｲﾖﾝ）	藤井・吉田 （電機）	深田・清水 （銀行）	武井・若月 （銀行）	関西 19-6
57	2008 平成20	岸 暁 （銀行相談役）	中原健一郎 （商事）	若菜・茅本 （重工・化学）	鈴木・君塚 （海上）	安井・伊藤 （生命）	黒崎・鳥山 （商事）	関西 14-11
58	2009 平成21	井手明彦 （ﾏﾃﾘｱﾙ社長）	藤田瑞飛 （生命）	出口・淀川 （重工）	瀧口・矢野 （化学）	古賀・加藤 （生命）	細江・佐藤 （生命・海上）	関東 13-12

回数	年 度	委員長	HI盃	女子 シングルス	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	男子 ダブルス	東西 対抗戦
59	2010 平成22	井手明彦 （ﾏﾃﾘｱﾙ会長）	藤田瑞飛 （生命）		近藤・淀川 （重工）	小野・赤沼 （硝子）	伊藤・五十嵐 （生命）	渡辺・瀬野 （電機）	関西 13-12
60	2011 平成23	井手明彦 （ﾏﾃﾘｱﾙ会長）	藤田瑞飛 （生命）		高橋・金子 （硝子）	後藤・古屋 （電機）	古賀・松重 （生命）	星村・狩谷 （生命）	関東 16-9
61	2012 平成24	井手明彦 （ﾏﾃﾘｱﾙ会長）	藤田瑞飛 （生命）		東・淀川 （重工）	伊藤・矢野 （化学）	五十嵐・鍋谷 （生命）	星村・狩谷 （生命）	関西 13-12
62	2013 平成25	井手明彦 （ﾏﾃﾘｱﾙ会長）	福田健司 （電機）	140才→	東・田中 （重工）	赤沼・本間 （硝子）	五十嵐・鍋谷 （生命）	廣田・横山 （電機）	関西 11-8
63	2014 平成26	井手明彦 （ﾏﾃﾘｱﾙ会長）	田川翔太 （海上）	鍋谷昌栄 （生命）	田中・永田 （重工）	近藤・矢野 （化学）	奥間・関 （銀行）	神谷・星野 （キリン）	関西 11-8
64	2015 平成27	井手明彦 （ﾏﾃﾘｱﾙ相談役）	古田陸人 （マテリアル）	木川里奈 （生命）	織田・藤井 （商事・電機）	堀田・多屋 （海上）	松田・泉水 （生命）	駒田・廣田 （電機）	関東 12-11
65	2016 平成28	井手明彦 （ﾏﾃﾘｱﾙ相談役）	田川翔太 （海上）	松本千広 （生命）	江口・近藤 （化学）	本間・半田 （硝子）	松田・泉水 （生命）	上村・尾形 （生命）	関東 16-9
66	2017 平成29	大宮英明 （重工会長）	田川翔太 （海上）	松本千広 （生命）	雨天中止	雨天中止	雨天中止	高山・野田 （生命）	雨天中止
67	2018 平成30	大宮英明 （重工会長）	田川翔太 （海上）	田中文彩 （生命）	東・前田 （重工・ケミカル）	宮川・伊藤 （重工）	本郷・森 （生命）	高山・野田 （生命）	関東 13-10
68	2019 令和元	大宮英明 （重工相談役）	台風影響により中止						
69	2020 令和2	大宮英明 （重工相談役）	COVID-19影響により中止						
70	2021 令和3	大宮英明 （重工相談役）	COVID-19影響により中止						
71	2022 令和4	大宮英明 （重工相談役）	田形諒平 （生命）	足立真美 （生命）	大塩・茂木 （銀行）	牧村・間野 （重工）	米原・清水 （生命）	浦上・井上 （海上）	中止
72	2023 令和5	大宮英明 （重工相談役）	田形諒平 （生命）	足立真美 （生命）	牧村・田畑 （重工）	福田・間野 （重工）	米原・清水 （生命）	安上・名越 （海上）	関東 10-3
73	2024 令和6	隅修三 （海上相談役）	田形諒平 （生命）	足立真美 （生命）	東城・加藤 （海上・電機）	吉田・峯 （重工）	中村・清水 （生命）	中村・大田 （電機）	関東 7-6
74	2025 令和7	隅修三 （海上相談役）	田形諒平 （生命）	竹本萌乃 （生命）	加藤・浅葉 （電機）	長谷川・広瀬 （ケミカル）	清水・三浦 （生命）	中村・大田 （電機）	雨天中止

注. 第30回大会以降の開催地はすべて東京